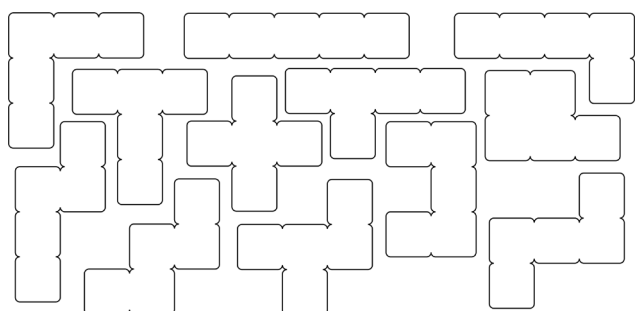


A strategy game for 2 players by
Néstor Romeral Andrés

概要

ペントアップ (Pent-Up) はペントミノタイルを積むゲームです。ペントミノは合同な正方形5個を辺に沿って繋げた形です。全部で12種類の異なるペントミノがあります。



12種類のペントミノ

プレイヤーは順番に自分のタイル1枚を簡単なルールに従って配置し、最後に一番上の階層に自分のタイルをより多く配置することを目指します。

いくつかのタイルは非対称で、どちらの面を上にして配置しても良いことに注意してください。

もしこのゲームが気に入ったならば、ぜひ**セブン**、**カウンタプレイ**、**スタック22**も遊んでみましょう。

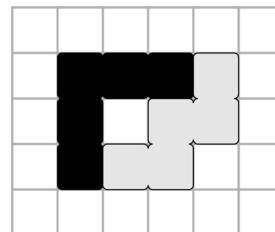
用具

各プレイヤーは、自分の色(黒または白)のペントミノタイル12枚を持ちます。タイルの縁は分かり易いように少しだけへこみが付いています。また、ゲームにはケースが付属しています。

さらに、プレイヤーは赤と青のタイルからなる第2のセットを購入することもできます(バリエーション参照)。

遊び方

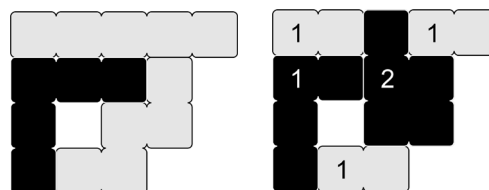
白プレイヤーは自分のタイル1枚をテーブルに置いてゲームを始めます。次に黒プレイヤーは、そのタイルと辺で接するように、そして、タイルが仮想的な正方形グリッドからずれないように、自分のタイル1枚を配置します。



初手の例(仮想的な正方形グリッドは薄灰色で描かれています)

これ以降は、プレイヤーは交互に自分の色のタイル1枚を自由に選び、以下のルールに従って配置します。

- タイルが仮想的な正方形グリッドからずれないように配置しなければなりません。
- タイルはテーブル上の最下層で他のタイルに辺で接するか、あるいは色に関わらず2枚以上のタイルの上に配置しなければなりません(訳注:直上に同一タイルを重ねて配置することはできません)。
- タイルは、そのタイルを構成する正方形すべてがテーブルあるいは別のタイルの上に重なるように、水平に配置しなければなりません(訳注:タイルが浮いたり、はみ出してはいけません)。
- タイルは配置可能な最も高い階層に配置しなければなりません。



例: 続いて白はI型タイルを階層1に配置します。

黒はP型タイルを選び、

ルールdにより、階層2に配置します。

(黒がP型タイルを置ける場所は他にもあります。

どこでしょうか?)

また、この黒の手番で、代わりに階層1に配置できたタイルが1枚だけあります。どれでしょうか?

ゲーム終了

両プレイヤーがすべてのタイルを配置したら、ゲーム終了です。最も高い階層により多くのタイルを配置しているプレイヤーの勝利です。同数の場合には次に高い階層、それも同数ならその次に高い階層というように比較します。

戦略

ルール d の制限(配置可能な最も高い階層に配置しなければならない)が、勝利の鍵です。最も高い階層で2枚のタイルが隣接するように相手に強制的に配置させれば、自分のタイルをその上に配置できます。ただし、タイミングが重要です。早過ぎたり、遅過ぎたりすると、逆に自分が負けることとなります!

3人用バリエーション

このバリエーションを遊ぶには、黒と白（アクリル製）のセットに加えて、赤と青（プラスチック製）のセットが必要です。3人（例えば、白、黒、赤）が時計回りに順に手番を行い、4色目は使いません。

ペア戦（2対2）バリエーション

このバリエーションを遊ぶには、黒と白のセットに加えて、赤と青のセットが必要です。

同じチームの2人が向かい合わせに座ります。1チームがアクリルタイル、もう1チームがプラスチックタイルを使うのが良いでしょう。

通常のルールに従って時計回りにゲームを進めます（チーム1の1人目、チーム2の1人目、チーム1の2人目、チーム2の2人目、というように）。ゲーム終了時に勝利したプレイヤーがいるチームが勝者です（つまり同じチームの2人のタイルは別々に扱います）。

注意：純粋な4人用ゲームはお勧めしません。また、このバリエーション（2対2）は48手番あるので、新しいプレイヤーには長く感じるかもしれません。

ミゼールバリエーション

通常のルールに従いますが、最も下の階層により多くのタイルを配置したプレイヤーが勝利します。

パズル

1. ルールに従って、階層6まで積み上げられますか？
2. タイルの配置に制限はありません。任意の黒タイル1枚を選び、最も少ない枚数の白タイルで囲みます（黒タイルのすべての辺が白タイルに接しなければなりません）。残った黒タイルでそれらの白タイルをすべて囲めますか？

PENT-UP rules, design and rulebook
2003 © Néstor Romeral Andrés
Revisions by Nathan Morse
Translation by Ken Shoda